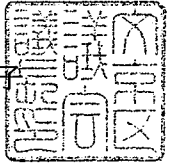




令和3年6月4日

文京区長 成澤 廣修 様

文京区議会議員 海老澤 敬子



新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望書

新型コロナウイルスワクチン接種については、令和3年5月7日付「文京区の新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望」により、区議会から区に要望しておりますが、今後も区民に不安を与えることなく、安定的にワクチン接種を実施できるよう、下記の点について重ねて強く要望いたします。

記

1 組織及び人員体制の強化

現在、職員の流動や期間を限定した兼務発令により、臨時的な体制強化に取り組んでいるが、全ての区民がワクチン接種を完了するには、相当の期間を要すると思われる。今後の事業を着実に遂行するため、接種完了までの期間を見据えた安定的な組織の構築及び人員の配置を行うこと。

なお、前回も要望した内容であるが、全庁的に組織が有効に機能するよう取り組むとともに、職員の心身のケアも含め、職員の働く環境に十分注意を払うこと。

2 計画の作成と公表

国からのワクチン送付数等が明らかになった際は、ワクチン接種の全体計画並びに接種スケジュール等を早急に作成し、区民にわかりやすく公表すること。また、接種計画は、作成後、随時改定することが見込まれるため、情報が錯綜することのないよう、きめ細かく周知すること。

3 接種会場及びワクチンの「打ち手」の確保

ワクチン接種会場の確保に当たっては、引き続き、区有施設、民間施設を問わず、あらゆる可能性を追求しながら、全力で会場確保に努めるとともに、地域偏在や空白地域が生じないように配慮すること。

また、ワクチンの「打ち手」の確保に当たっては、区内の医師会に加え、歯科医師会、薬剤師会など様々な関係機関との協力体制を模索すること。

4 ワクチンを無駄にしない取組

予約キャンセルが生じた場合のワクチンの取り扱いについては、現在、入院患者や民生委員への接種で対応しているが、その対象を福祉施設・教育・保育等従事者に広げ、ワクチンが決して無駄にならないように取り組むこと。



5 接種状況の把握と適切な支援

今後、ワクチンの個別接種や、大学・民間事業者等でのワクチン接種の実施が見込まれるが、区民の接種状況を的確に把握し、未接種の区民に対して、ワクチン接種の啓発に努めること。

また、障害のある方、自宅療養中の方など、ワクチン接種のために支援を必要とする区民に漏れなく情報を届け、適切な支援につなげること。

6 教育委員会との連携

ワクチンの接種対象年齢が、16歳以上から12歳以上に引き下げられることとなったが、区は教育委員会と綿密に連携し、児童・生徒にワクチンの有効性等を十分説明するとともに、接種を希望する児童・生徒に適切に対応すること。

7 事業スキームの改善

区民への情報発信手段、接種券の送付方法、予約受付体制の整備等、それぞれの事業スキームについては常に見直しを行い、効率的・安定的に接種を行うこと。

8 予約システムの見直し

ワクチン接種予約システムについては、予約情報の入力に加え、予約内容の変更等もスムーズに行えるよう、引き続き見直しを行うこと。

9 PCR検査体制の拡充

PCR検査体制については、引き続き拡充に努めること。

10 区議会への情報共有

区議会への情報共有は適時適切に行い、わかりやすく説明すること。

以上